

7.

学術成果の発信

- 1) 学術雑誌『ジェンダー研究』
- 2) プロジェクト報告書
IGS Project Series による
成果刊行

1) 学術雑誌『ジェンダー研究』

■『ジェンダー研究』概要

ジェンダー学の先端成果、知の構築

ISSN 1345-0638		
お茶の水女子大学ジェンダー研究所年報		
ジェンダー研究		第20号
<i>Journal of Gender Studies</i>		(通巻37号)
■特集「ジェンダーで見る新自由主義・政策・労働——社会的再生産はいかに行われるのか？」 序——新自由主義と社会的再生産のジェンダー分析 足立眞理子 1 Changing Norms of Social Reproduction in an Age of Austerity Susan HIMMELWEIT 5 ネオリベリズムとジェンダー 上野千鶴子 21 新自由主義とフェミニズム——女性主体の視点から 伊田久美子 35		
■特別寄稿 「八百比丘尼の証」 美 穂子 45		
■投稿論文 日本企業で働く女性外国人社員のジェンダーとキャリア形成——元留学生で文系総合職社員の場合 鈴木 伸子 55 「男性不妊」という終戦——産後療養を受けた夫たちの語りから 竹家 一英 73 戦後・昭和における「結婚」について 佐々木清実 87		
■書評 小形礼子・宮本あち子編著 『下層化する女性たち——労働と家庭からの排除と異国』 林 康義 101 松竹典著 姜徳子・高橋祥訳 『京城のモダンガール——消費・労働・女性から見た植民地近代』 尹 智旭 106 David J. Getz著 『Abstract Bodies: Sixties Sculpture in the Expanded Field of Gender』 宮内 拓英 109 Namori Kodate and Kazuko Kodate著 『Japanese Women in Science and Engineering: History and Policy Change』 新山 英和 113 Ray Späthgen and Diane Kitz Moser著 大坪久子、田中順子、土本幸、坂井香一訳 『ノーベル賞学者 パーバ・マクリントックの生涯——踊る遺伝子の発見』 森 義仁 117 山口智美、熊川元一、テッサ・モリス・スズキ、小山エミ著 『海を渡る「慰安婦」問題——右派の「歴史観」を問う』 甲 須英 121		
■ジェンダー研究所情報(平成28年度) 125 ■編集方針・投稿規程 140 ■編集後記 148		
2017年3月		
お茶の水女子大学ジェンダー研究所		

本研究所が発行しているレフェリー付きの学術雑誌。編集長は第11号より今年度第20号まで足立眞理子 IGS 教授が務めた。前身は『女性文化資料館報』（1979～1987年）、『女性文化研究センター年報』（1988～1996年）。1998年3月に『年報ジェンダー研究』第1号を創刊以後、年刊。

本誌は寄稿論文、投稿論文、研究ノート、書評、ジェンダー研究所の事業報告、彙報などから構成される。投稿資格は本学教職員と現役学生、卒業生、研究所関係者に限定されるが、外部審査を経た投稿論文、書評は非常に高い質を誇っており、巻頭に掲載される世界第一級のジェンダー学研究者による寄稿論文も特筆に値する。

■『ジェンダー研究 20 号』（2017 年 3 月刊行）の概要

特集：「ジェンダーで見る新自由主義・政策・労働——社会的再生
産はいかに行われるのか？」

特別寄稿：『八百比丘尼の話』

20 号の特集は 2015 年 12 月に本学で開催された IGS 国際シンポジウムの議論が基となっている。「序——新自由主義と社会的再生産のジェンダー分析」（足立真理子）、「Changing Norms of Social Reproduction in an Age of Austerity」(Susan Himmelweit)、「ネオリベリズムとジェンダー」(上野千鶴子)、「新自由主義とフェミニズム——女性主体の視点から」(伊田久美子) の 4 本を収録。ジェンダー、フェミニズム視座からの新自由主義批判と考察である。

また、本誌では初の試みとして、特別寄稿に、作家姜信子氏による『八百比丘尼の話』を掲載した。姜氏は IGS セミナー「訳者と語る『京城のモダンガール——消費・労働・女性から見た植民地近代』」にて講演者を務めた。

投稿論文は、今年は厳正な審査を経て、3 本が掲載された。「日本企業で働く女性外国人社員のジェンダーとキャリア形成」(鈴木)、「『男性不妊』という経験」(竹家)、「秦代・漢初における〈婚姻〉について」(佐々木) と、日本語教育学と女子留学生の就職事情、男性不妊とジェンダーに関する社会学的分析、中国古代史におけるジェンダーという様々な専門領域の研究者による既存の研究枠組みへの挑戦であり、精鋭な議論が展開されている。書評は投稿 4 件(林氏、尹氏、宮内氏、横山氏)と、編集委員を務める本学教員による寄稿 2 件(森氏、申氏)を収録した。人文科学・社会科学・自然科学領域に至るまでの幅広いフェミニズム、ジェンダー学の先端動向を紹介することができた。

記念すべき 20 号にふさわしく、多彩な執筆陣によって、最先端のジェンダー論が提供されている。

『ジェンダー研究』第 20 号（2017 年 3 月刊行）目次

■特集「ジェンダーで見る新自由主義・政策・労働——社会的再生産はいかに行われるのか？」

序——新自由主義と社会的再生産のジェンダー分析	足立真理子	1
Changing Norms of Social Reproduction in an Age of Austerity	Susan HIMMELWEIT	5
ネオリベリズムとジェンダー	上野千鶴子	21
新自由主義とフェミニズム——女性主体の視点から	伊田久美子	35

■特別寄稿

『八百比丘尼の話』	姜 信子	45
-----------	------	----

■投稿論文

日本企業で働く女性外国人社員のジェンダーとキャリア形成 ——元留学生で文系総合職社員の場合	鈴木 伸子	55
「男性不妊」という経験——泌尿器科を受診した夫たちの語りから	竹家 一美	73
秦代・漢初における〈婚姻〉について	佐々木満実	87

■ 書評

小杉礼子・宮本みち子編著 『下層化する女性たち—労働と家庭からの排除と貧困』	林 亜美	101
徐智瑛著 姜信子・高橋梓訳 『京城のモダンガール—消費・労働・女性から見た植民地近代』	尹 智炤 (Yoon Jiso)	105
David J. Getsy 著 <i>Abstract Bodies: Sixties Sculpture in the Expanded Field of Gender</i>	宮内 裕美	109
Naonori Kodate and Kashiko Kodate 著 <i>Japanese Women in Science and Engineering: History and Policy Change</i>	横山 美和	113
Ray Spangenburg and Diane Kit Moser 著 大坪久子、田中順子、土本草、福井希一訳 『ノーベル賞学者 バーバラ・マクリントックの生涯—動く遺伝子の発見』	森 義仁	117
山口智美、能川元一、テッサ・モーリス-スズキ、小山エミ著 『海を渡る「慰安婦」問題—右派の「歴史戦」を問う』	申 琪榮	121
■ ジェンダー研究所彙報(平成 28 年度)		125
■ 編集方針・投稿規程		146
■ 編集後記		148

《第 20 号編集委員会》

編集委員長	足立真理子（ジェンダー研究所教授）
編集委員	石井クンツ昌子（ジェンダー研究所所長、基幹研究院人間科学系教授）
	申琪榮（ジェンダー研究所准教授）
	天野知香（基幹研究院文化科学系教授）
	荒木美奈子（基幹研究院人間科学系 准教授）
	水野勲（基幹研究院人間科学系教授）
	森義仁（基幹研究院自然科学系教授）
編集事務局	臺丸谷美幸（ジェンダー研究所特任リサーチフェロー）

2) プロジェクト報告書 IGS Project Series による成果刊行

2016 年度は、本研究所成果発信シリーズ IGS Project Series を 9 冊刊行した。内訳は、IGS セミナー成果 2 冊、国際シンポジウム成果 3 冊、特別招聘教授プロジェクト成果 4 冊である。ウェブサイト上でのオンライン公開も順次進めている。引き続き、早期の事業成果公開を心がけることに加え、日英両言語での編集巻を増やし、国際的な発信を強化することに努めたい。

IGS Project Series 3 特別招聘教授プロジェクト特集 マリー・ピコーネ



【目次】

- マリー・ピコーネ特別招聘教授プロジェクト実施概要
- 研究プロジェクト「1980 年代以降の日本における水子供養」
研究プロジェクト報告書
- 国際シンポジウム「はたして日本研究にとってジェンダー概念は有効なのか？」
国際シンポジウム概要
- シンポジウム研究発表 「胎児の死と中絶をめぐるジェンダー化の諸相」
「IGS 通信」掲載国際シンポジウム開催報告
- IGS セミナー「“センシティブ”なテーマに関わる面接調査と質問紙調査」
IGS セミナー講義

IGS Project Series 4 特別招聘教授プロジェクト特集 アン・ウォルソール



【目次】

- アン・ウォルソール特別招聘教授プロジェクト実施概要
- 研究プロジェクト報告
信仰、政治、愛情：平田篤胤一家の社会史
- IGS セミナー
いい兄貴ーわるい弟：Gender Dynamics in an Early Modern Family
- 国際シンポジウム
科学と工学を目指す女性へ

IGS Project Series 5 国際シンポジウム 家族、仕事、ウェルビーイングの国際比較



【目次】

- 実施概要報告
- シンポジウムの記録
研究報告
小野坂優子
仕事と家庭と幸福感:日本とノルウェーの視点から
根本宮美子
日本における未婚男性の幸福と家族の変化
- ディスカッサントによるコメント
コメント 1: スーザン・D・ハロウェイ
コメント 2: 石井クンツ昌子
- 質疑応答
「IGS 通信」掲載開催報告
- 資料：研究報告スライド
小野坂優子「仕事と家庭と幸福感:日本とノルウェーの視点から」
根本宮美子「日本における未婚男性の幸福と家族の変化」

IGS Project Series 6 特別招聘教授プロジェクト特集 スーザン・D・ハロウェイ



【目次】

スーザン・D・ハロウェイ特別招聘教授プロジェクト実施概要
研究プロジェクト「日本の家族生活と幼児教育・保育の背景の変化」
研究プロジェクト報告書
国際シンポジウム「家族、仕事、ウェルビーイングの国際比較」
国際シンポジウム概要
ディスカッサントコメント
「IGS 通信」掲載国際シンポジウム開催報告
IGS セミナー「現代日本における家庭と学校教育：外国人研究者の視点と研究」
IGS セミナー講義（スライド）
「IGS 通信」掲載セミナー開催報告

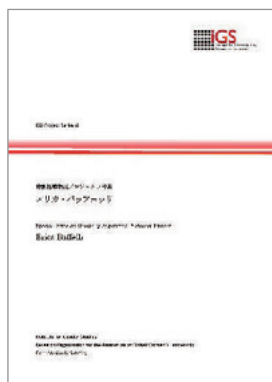
IGS Project Series 7 国際シンポジウム 女性、宗教、暴力：国際的視点からの再考



【目次】

実施概要報告
シンポジウムの記録
趣旨説明 エリカ・バッフェッリ
基調講演 アートリー・セン「女性とラディカルな運動」
ディスカッサントによるコメント
コメント1：松尾瑞穂「Prof. Atreyee Sen の議論を受けて」
コメント2：小川真理子「日本における DV の加害者と被害者」
質疑応答
「IGS 通信」掲載開催報告

IGS Project Series 8 特別招聘教授プロジェクト特集 エリカ・バッフェッリ



【目次】

○日本語版
エリカ・バッフェッリ特別招聘教授プロジェクト実施概要
活動報告書 エリカ・バッフェッリ
国際シンポジウム「女性、宗教、暴力：国際的視点からの再考」
国際シンポジウム概要報告
国際シンポジウム趣旨説明 エリカ・バッフェッリ
国際シンポジウム開催報告
IGS セミナー「立ち位置を考える：日本の新宗教フィールドワークからの考察」
IGS セミナー講義スライド
IGS セミナー開催報告

○英語版

Erica Baffelli Specially Appointed Professor Project Summary
Activity Report Erica Baffelli
International Symposium 'Women, Religion and Violence in International Perspective'
Symposium Summary
Symposium Introduction Erica Baffelli
Symposium Report
IGS Seminar 'Finding Your Place'
Seminar Slides
Seminar Report

IGS Project Series 9 IGS Seminar (Reproductive Area) 2016 The Ethics of Prenatal Testing



【目次】

- Seminar Details
- Seminar Time Table
- Forward
- Presentations
 - Catherine Mills "Gender, Disability and Bodily Norms in Prenatal Testing and Selective Termination of Pregnancy"
 - Kaori Muto "Ethics and Governance of Non-invasive Prenatal Testing in Japan"
 - Yasushi Ishida "Comments"
- Comments from Audiences
- Slides for presentation
- Poster

IGS Project Series 10 国際シンポジウム 金融化、雇用、ジェンダー不平等



【目次】

- Seminar Details
- Forward
- Opening Remarks Hiroaki Itai
- Abstracts
 - Paper Chandrasekhar 'Finance and Instability in Asia'
- Comments Makoto Itoh
- Closing Remarks Mariko Adachi
- Symposium Report on IGS website
- Power Point Slides
 - Jayati Ghosh 'Economic crises and women's work'
 - Chandrasekhar 'Finance and Instability in Asia'

IGS Project Series 11 IGS セミナー報告書

訳者と語る『京城のモダンガール—消費・労働・女性から見た植民地近代』



【目次】

- はじめに
- 午前の部 講演者特別寄稿（高橋）
- 午後の部 書評会
 - 第1章（板橋）
 - 第2章（磯山）
 - 第3章（臺丸谷）
 - 第4章（尹）
 - 第5章（土野）
- 全体書評①（吉良）
- 全体書評②（崔）
- 【付録】当日の記録